

腹腔鏡下胃切除の手術を受けられる

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	手術前日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目
目標	体調を整え手術にのぞめる	安心して手術が受けられる	術後の痛みや不快を伝えられる	看護師の付き添いで歩行ができる 水分を摂取できる 食事のとり方が理解できる	
検査				 胸腹部のレントゲンと血液検査を行います	看護師の付き添いで歩行ができる
食事	夕食後絶食 21時まで水分可	絶飲食(経口補水液は朝6時まで可)		水分のみ可 (医師の指示による)	分割食(流動食)
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで装着します) 入浴前にお臍をきれいにします	歩いて手術室まで行きます	手術後、酸素マスクをしています		手術創の確認をします 尿の管を抜去します (2~3日目) 背中に入っている麻酔の管を抜去します (2~3日目)
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  就寝前に下剤を服用します		 引き続き点滴があります  手術後、抗生剤の点滴を行います	  血栓予防の薬剤を皮下注射します	 
行動	 シャワーしてください  制限ありません	 トイレを済ませ、手術着に着替えてください  入れ歯、時計、眼鏡、アクセサリーははずしてください	 ベッドで安静にしてください 術後、痛いときはお申し出ください	 歩行可となります (最初の離床は看護師と一緒にいきます)  看護師が体を拭きます 手術着から寝巻きに着替えます	
説明	術前オリエンテーション		 術後、痛いときはお申し出ください		
	 医師より説明 ・入院治療計画と麻酔について  看護師より説明 ・入院生活について  薬剤師より説明 ・お薬について ・持参薬確認		 医師より説明 ・手術の経過について		 栄養士より説明 ・栄養相談 (術後2日目頃)病室で

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日 日～ 月 日	月 日	月 日 日～ 月 日	月 日						
経過	術後 3 日目		術後 4 ～ 5 日目		術後 6 日目	術後 7 ～ 8 日目		術後 9 日目退院			
目標	食事形態が変わることになる			順調に食事をとることができる			退院後の生活について不安な事を伝えられる				
	食事のとり方が理解できる			腸痙の管理をマスターしていく							
検査	 胸腹部のレントゲンと血液検査			 必要時、胸腹部のレントゲンと血液検査							
食事	分割食（3 分かゆ）		分割食（5 分かゆ）		分割食（全かゆ）		分割食（全かゆ）		退院日は朝食後に退院です		
											
処置・観察				お腹の管を抜去します（4～5日目）						退院時、リストバンドを外します	
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります										
注射・内服	 引き続き点滴があります					 6 日目で点滴が終了します					
行動	 看護師が体を拭きます		 シャワーできます（4 日目以後）						退院となります		
説明						 栄養士より説明・栄養相談（術後 7 日目）栄養相談室で		 医師より説明・退院後の治療について  看護師より説明・退院後の療養生活について ・次回外来受診について			

